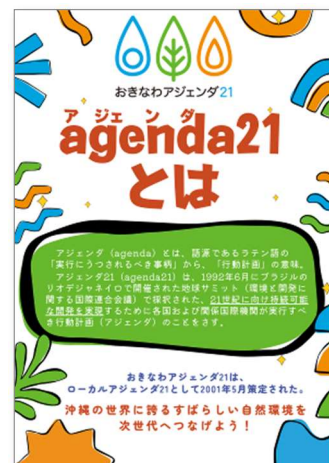


令和4年度（2022年度）事業報告

事 項	事 業 の 概 要
<p>総 会</p> <p>理 事 会</p> <p>運 営 委 員 会</p> <p>提案公募 審 査 会</p>	<p>・ 県民会議規約第9条に基づき、通常総会を書面議決で開催した。 (R4/6/15(水)～6/29(水))</p> <p>・ 県民会議規約第14条に基づき開催した。(R4/6/3(金))</p> <p>・ 県民会議の事業を円滑に推進するため、県民会議規約第15条に基づき設置される運営委員会を開催した。 第1回運営委員会 (R4/5/24(火) 14:00～16:00) 南部合同庁舎第1・2・3会議室 第2回運営委員会 (R4/9/7(水) 14:00～16:00) 自治研修所8階特別研修室 第3回運営委員会 (R5/3/30(木) 14:00～16:00) 自治研修所8階特別研修室</p> <p>・ 提案公募型普及啓発事業の審査は書面議決で実施した。 (R4/11/24(木)～12/2(金))</p>
<p>普 啓 事</p> <p>及 発 業</p>	<p>1 環境月間普及啓発キャンペーン 環境月間中(6月)のイベントとして、沖縄県と連携し、サンエー那覇メインプレイスにおいて(1階東口と中央コート)環境月間街頭キャンペーン(6/6(月))を実施した。観葉植物等苗木(214鉢)に加え、環境月間チラシや啓発用ティッシュ等を合わせて配布し環境保全に対して関心を高めてもらうきっかけとした。</p>  <p>2 環境講演会 第3期計画の重点目標3「循環型社会の構築」に関連して、プラスチック問題をテーマに会場とオンラインのハイブリッド型環境講演会を開催した。小寺氏(GODAC)を講師に招聘し、ごみが集積した県内の砂浜の状況やプラスチックごみが漂う海外の海中の様子等が紹介され、プラスチックの特性から海洋プラスチック問題を考えてもらう場とした。 タイトル：親子で学ぶ海洋プラスチック問題～ちゅら海を守るために私たちができること～ 講 師：小寺 克巳氏(GODAC サイエンスコミュニケーター) 日 時：令和5年3月19日(日)10:30～12:00 参加者数：34名(会場 12名 オンライン 22名)</p> 

3 県民環境フェアの開催

沖縄県復帰 50 周年記念事業として、従来の環境フェアを発展させた参加体験型フェア（エコライフ&ネイチャーフェア）を県主催、本県民会議共催で開催した。本県民会議のブースでは、ストックホルム宣言から 50 年目の節目として環境問題の歴史と『アジェンダ 21』とのかかわりのタペストリーを作成し展示した。ブース来場者には 第 3 期計画の冊子を配布し県民会議について知ってもらうきっかけとした。ステージでは感謝状贈呈式（後述）が執り行われた。



開催日：令和 4 年 11 月 12 日（土）

場所：沖縄こどもの国

来場者数：3,971 名（県公式発表）

4 地球温暖化防止等に関する普及啓発事業

環境月間（6 月）等に、行政や沖縄県地球温暖化防止活動推進センターと連携し、県民会議活動等に関するパネル展を実施した。

(1) 環境月間パネル展（沖縄県庁 1 階ロビー）

日時：令和 4 年 6 月 6 日（月）～10 日（金）

(2) 浦添市地球温暖化防止展（浦添市役所 1 階ロビー）

日時：令和 4 年 12 月 19 日（月）～23 日（金）

(3) 豊見城市パネル展（豊見城市役所 1 階ロビー）

日時：令和 5 年 1 月 23 日（月）～27 日（金）

5 体験型啓発セミナーの開催

寄付金を活用した初めての取組として、「ウチナーの自然を知ろう！」をテーマに本県民会議の 3 つの重点目標について、子どもから大人を対象とした体験型環境教育を実施した。

(1) セミナー第 1 弾 重点目標 3：循環型社会の構築

《ウチナーの海を知る！～ビーチクリーンとうみの学校～》

日時：令和 4 年 6 月 25 日（土）9:50～12:00

講師：比嘉直人氏（GODAC）

場所：佐敷干潟・シュガーホール

内容：南城市文化センター・シュガーホールにおいて海洋ごみに関するミニ講座と地元南城市の海岸清掃活動を展開する小学生～高校生の活動団体であるエコホヌの発表のあと、佐敷干潟で清掃活動を実施。拾ったペットボトルの国別バーコードから国ごとに集計した後、ペットボトルの由来や処分の流れの共有を図った。親子連れ 86 名が参加。



(2) セミナー第2弾 重点目標2：生物多様性の保全・継承
 ≪ウチナーに生きるいきものを知る！

～やんばるいきものつながりを感じよう～

日時：令和4年11月27日（日）10：30～12：00

講師：上開地 広美氏（株）Endemic garden H

場所：国頭村森林公園

内容：世界自然遺産に登録されたやんばるの森を認定ネイチャーガイドの解説のもと豊かな自然と生物多様性に見て・触れ・感じる体験型ツアーを開催。公園内でも見られる外来種について学んだあとは、アメリカハマグルマ等の防除作業を実施した。親子連れ 20 名が参加。



(3) セミナー第3弾 重点目標1：地球温暖化対策の推進
 ≪ショッピングモール DE 地球温暖化対策見学ツアー≫

日時：令和5年1月22日（日）10:00～12:00

講師：大浅田 均氏（沖縄県地球温暖化防止活動推進員）

場所：イオンモール沖縄ライカム

内容：企業の地球温暖化対策を学ぶ見学ツアーを開催。施設担当者の案内で環境に配慮した緑化や建物の工夫、バックヤード見学に加え、食品売り場では環境配慮商品について学んだ。その後、自分たちの行動についてミニワークを実施し、各グループから自分たちができる対策を発表し合った。親子連れ 20 名が参加。



6 NPO等環境ボランティア活動支援事業

環境保全活動団体等が実施する環境保全活動を支援することを目的に支援金40,000円を上限に実施した。(応募4件、採択4件)

採択団体①：YBF友の会

地域の自然環境や固有鳥類、珍鳥、普通種等のバードウォッチングの現状等について、2名の講師によるオンラインセミナーを実施した。また、地域の鳥類相や自然環境への理解を深めることを目的に地域住民等を対象に名護市内及び座間味島での探鳥会を実施した。(助成額29,040円)

採択団体②：(一社)うらそえ里浜・未来環境ネットワーク

コロナ禍で参加者を限定しながらビーチクリーンを3回開催した。参加者合計121名、回収ごみ合計1,134.9kg(可燃ごみ697.5kg(145袋)不燃ごみ82.5kg(27袋)その他354.9kg)となった。

海からの手紙2022～アートで伝える展示会～で西海岸里浜の保全活用の取組成果・課題等について展示参加し、普及啓発カードの配布や西海岸・里浜ビーチクリーンのローカルルール作成について広く意見等を集め集計した。(助成額40,000円)

採択団体③：こども冒険エコクラブ

コロナ禍が続き様々な機会を持ちにくくなっている中、環境保全のためのボランティア体験及び自然体験の活動を通して、子どもと大人が一緒に学び合い交流する機会を3回設け78名の親子が参加した。また、海岸に落ちているごみを拾い集め、環境問題を学ぶ機会にするとともに、サンゴの観察等を通して地域の自然に触れ合った。(助成額40,000円)

採択団体④：前：(一社)沖縄県婦人連合会(現：(一社)沖縄県女性連合会)

ゴミ削減3R運動「リサイクルま〜る」と称し、R4年12月1日～R5年2月28日に期間を設け、沖縄婦人連合会館1階ロビーにおいて、地域や婦人女性会員へ呼びかけ、家庭にある不要品を頂き、それを必要としている方へ提供するとともに、ゴミ削減の呼びかけを実施した。段ボールコンポストの講習を行い、ゴミ削減の啓蒙運動を開催した。(助成額40,000円)

7 NPO等環境ボランティア活動支援事業(簡易版)

前述5の簡易版として、支援金額を活動1件につき5,000円(1団体に付き上限2件まで)として実施した(応募1件、採択1件)。

採択：宮城弘子氏 沖縄県地球温暖化防止活動推進員

(チラシ探偵団(令和4年8月20日実施 南風原町内 助成額2,376円)

8 提案公募型普及啓発事業

県民会議構成団体である環境NPO等のノウハウ及びネットワークを活用し、効果的な普及啓発事業を実施することを目的に予算総額400,000円の範囲内で1~2件。(応募1件、採択1件)

採択団体：バスマップ沖縄

観光客が「バス」で移動できるよう県内の路線バスの利用情報をまとめたツール「バスマップ沖縄」を作成した。マップの作成に当たっては特に宮古、八重山方面の現地調査を行い、より正確な情報を把握、掲載できるようにした。作成したマップは那覇空港、那覇市観光協会、沖縄県観光情報センター等で配布し好評を得ている。(助成額200,000円)

9 広報活動事業

助成事業等の活動状況を本県民会議のHPへ掲載し、本県民会議の広報や会員拡大に努めた。本県民会議専用ドメイン、保守管理等を行い、SNS等を通して情報提供を行った。

10 感謝状の贈呈

令和4年11月12日(土)開催の県民環境フェア(会場:沖縄こどもの国)において、計6団体に対し感謝状を授与した。本県民会議の活動に理解頂き、多額の寄付を頂いた団体等となっている。(新型コロナウイルス感染症の影響を受けて授与できなかった令和2年度表彰4団体含む合同授与)

・令和2年度感謝状授与団体

沖縄県衣類縫製品工業組合様 株式会社セブン-イレブン・沖縄様
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様 株式会社沖縄伊藤園様

・令和4年度感謝状授与団体

沖縄食糧株式会社様 ANA X株式会社様 (いずれも順不同)



11 沖縄県環境功労者表彰への候補者推薦

県の行う令和4年度環境功労者表彰の候補者として県内で環境保全活動を精力的に展開している次の2団体を本県民会議から推薦した結果、環境保全功労者表彰団体の決定を受け、前述のエコライフ&ネイチャーフェア式典において賞状が授与された。

・エコツアーふくみみ 代表 大堀健司（石垣島において地元の子ども達や観光客に対して環境教育を実施する他、石垣島の自然環境保全に関して行政と民間の橋渡し・問題解決に臨んでいる）*受賞式はご欠席

・しかたに自然案内 代表 鹿谷麻夕（県内各地で自然観察会や環境学習を行い、フィールドワークや学習会、講演、ワークショップ等、様々な切り口で海に関わる話題を伝え、沖縄の海に対する環境保全意識の普及啓発に努めている）



前列右端：しかたに自然案内

12 構成団体との連携協力

- (1) 4月24日（日）アースデイ（Earth Day）2022 in うらそえ西海岸・里浜ビーチクリーンでは、事務局も清掃活動へ参加した。
- (2) 令和4年度ちゅら島環境美化全県一斉清掃第1回清掃期間（R4年6月から8月）において、前述の体験型啓発セミナー第1弾のビーチクリーン活動を実施した。
- (3) セイカツをカエルTV

本県民会議は、おきでん more-E 会員によるおきでん E ポイントの交換時の寄付先の1つとなっている。沖縄電力様より、ポイント交換先の特集についての撮影打診があり、以下の日程で放映された。

番組名：『セイカツをカエルTV』（琉球朝日放送）

放映日：令和5年3月27日（月）18：55～19：00

#51「ポイントで変わるセイカツ編（4）」（qab.co.jp）

13 他団体との連携協力

- (1) 「地域づくりを支援する助成団体ネットワーク」への参加

本ネットワークは、県内の助成団体と地域づくり団体を相互に繋ぐことで地域づくり活動における助成の活用事例及び助成情報の共

有等を目的としている。令和4年度第1回地域づくりを支援する助成団体ネットワーク会議（R5/1/25（水）14：00～16：00）にオンラインで参加し①参加団体の助成事業の実施状況②内部研修会等の企画に関して共有した。

(2) 名義の使用承諾許可について

以下の団体に対し本県民会議名義の使用を承諾した。

① 本県民会議が共催

行事名：エコライフ&ネイチャーフェア2022（主催：沖縄県）

② 本県民会議が共催

行事名：令和4年度気候講演会（主催：沖縄气象台）

14 寄付金贈呈式等

本県民会議の目的・活動等にご理解を頂いた団体様8社から、キャンペーン期間中の売り上げなどをご寄付いただき、当該寄付状況について県民会議ホームページで周知を図った。また、寄付団体のご意向や寄付額等を踏まえ、このうち3団体の寄付金贈呈式が執り行われた。

(1) 沖縄県衣類縫製品工業組合 様

贈呈式：令和4年6月1日（水）

場所：パレット久茂地前交通広場



(2) あいおいニッセイ同和

損害保険(株) 様

贈呈式：令和5年2月13日（月）

場所：沖縄県庁知事応接室



(3) (株) 沖縄伊藤園 様

贈呈式：令和5年3月29日（水）

場所：沖縄県庁環境部長室



15 おきなわSDGsパートナーの登録更新

令和2年3月24日に登録交付を受けたSDGsパートナー登録を更新し、SDGs（国連持続可能な開発目標）の推進に協力した。（登録 令和4年4月1日～令和7年3月31日。）

16 進行管理

おきなわアジェンダ21（第3期）の進行管理指標の一つである「環境に対する県民意識」を把握するため、県内北部域、中部域、南部域、宮古城、八重山域の小学校6年生を対象に学校用タブレットを用いてアンケート調査を実施した（回答数425件）。また、補完的に、一般県民向けWEBアンケート調査も実施した（回答数400件）。アンケート結果については、本県民会議HP等で公表することとしている。

なお、今回のアンケート結果で、小学生や一般県民における環境関連用語（緩和策・適応策、生物多様性、3R）の認知度や、環境保全に関する意識や取組（節電、環境学習、マイバッグの利用）にどのような傾向があるか確認されたことから、これらを基本情報として、より本県民会議の取組が効果的なものになるよう検討していく。